



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

8月29日発行 No.5

小金井市前原町3-4-22

TEL 042-383-1146

FAX 042-382-2046

HP: <https://www.maehara.school>

自然に発揮できる力

校長 小柳 政憲

今年も、天気予報を見るたび、日中外に出るたびに、熱中症を気にしなければならない夏でした。子供たちが子供らしく夏休みを楽しんでいることを願っていました。厳しい残暑が続くという予報もあります。通常の教育活動に加え、熱中症をはじめ、雷や豪雨等をふくめた災害にも気を配りながら、子供たちの安全・安心と成長を見守っていこうと思います。

この夏休み、私がとてもうれしかった出来事は、清里林間学校でした。

山の天気は変化が激しく、急な雨や落雷で活動を中止しなければならなかったり、清里とはいえ、東京と変わらない高い気温で活動を控えたりしたという他の学校の情報が入っていたにもかかわらず、快適な気温の中、すべての活動を予定通り行うことができました。そんな中で見られた6年生の姿が、何よりも心に残るものでした。

昨年度、5年生として初めて宿泊を経験した海の移動教室を終えた後、さらに成長するための課題として、担任たちから子供たちに次のようなことが指摘されていたのです。

- ・任された役割を一人一人がしっかり行うこと
- ・5分前行動を確実にこなせるようにすること
- ・考えて動くこと

宿泊学習は子供たちだけで過ごす時間が長いため、楽しいことも多い反面いつも以上に気を使うことが多く、ストレスを抱えます。事前に、しっかり取り組もうと約束をしていますが、全員で足並みをそろえることは難しいのです（だからこそ、教育的意義が高い活動なのですが）。宿舎の整理整頓、食事の準備や片付け、キャンプファイヤーなどのレクリエーション、班のメンバーの健康管理、皆の統率など担当した役割を、互いに声を掛け合って取り組んでいました。2泊3日という長い期間を、最後まで協力してやり遂げる意識の高さに成長を感じました。就寝時刻前に行われる室長会では、進行もすべて自分たちですすんでいながら、反省点を明確にまとめていく話し合いの場面が見られました。子供たちの主体性とそれを支える一人一人の表現力に感動しました（ドキュメンタリーの映画を撮って、上映したいくらいでした）。優しく素直なこの学年の子供たちだからこそ、有意義な移動教室になったということも大きいでしょうが、常日頃から、重点目標として取り組んでいる表現力やコミュニケーション力が、このような成果を生んでいるとしたら、この上ない喜びです。

今後、ますます「言葉」でやり取りをすることが重視される世の中になります。自分らしく生きていくためには、人の考えを理解したうえで、自分の考えややりたいことを理由を付けて伝えていく力が必要となっていくでしょう。強制されたからではなく自然に発揮できる真の力を付けるために、子供たちが自分で自分を褒めることができるような、主体性と表現力を高められる2学期にしようと思います。運動会やけやき祭（学芸会）に加え、今年度は「みんなの日」という行事をはじめて行います。2学期も、お力添えをお願いします。